

内装材使用面積計算書

記入例

事業タイプ ※該当するものに○	県内新築タイプ・県外新築タイプ・県外改修タイプ
申込者氏名	岐阜 太郎

◆JAS 製品の場合は、性能表示材認定工場の JAS 欄に○を記入すること。

部材名称	樹種	規格			数量 (枚)	内装材使用面積 (㎡)		ぎふ証明材 最終証明者 会社名・登録番号	性能表示材等 認定工場名・認定番号 又はセンター検査番号 ※加算の場合記載	使用箇所 (該当箇所に○)		
		厚さ (cm)	幅 (cm)	長さ (m)		うち、性能表示材等 加算面積 (㎡)	JAS			床	壁	天井
床板	スギ	0.15	30	1.8	80	43.2	43.2	木木産業(株) 第010XXX号	県流製材所 第XXX号	○		
羽目板	ヒノキ	1	30	0.9	30	8.1	8.1	木木産業(株) 第010XXX号	県流製材所 第XXX号		○	
計						①	②					
						51.3	51.3					
うち、JAS製品使用面積												
うち、性能表示材使用面積							51.3					

◆規格・枚数を記載するのが難しい場合 (例: 坪数で納品、塗り壁材を使用) は、内装材使用面積のみの記載で良い

◆「ぎふ証明材」を出荷した最終流証明者の「会社名」+「事業者登録番号」を記載

◆「性能表示材」を使用した場合、「認定工場名」+「認定番号」又はセンター検査番号を記載

◆どこに使用した内装材 (床・壁・天井) であるか○を付ける

◆補助対象面積計算書

	補助対象面積 (㎡)
① 内装材使用面積	51.3
② ①のうち、性能表示材等加算面積	51.3

◆別途、納品書以外に面積計算根拠を記した書類を提出すること

◆補助の対象となる内装仕上げ材の納品書の合計面積  
※面積計算根拠の数字 (実際使用した量) でなくてよい